

## 委員会視察記録

委員会名	総務委員会			
期 間	令和5年7月26日～27日			
参加者	委員長	西原 明美	副委員長	牧野 正史
	副委員長	小沼 秀朗	委 員	河原崎 聖
	委 員	鳥澤 由克	委 員	中沢 公彦
	委 員	赤堀 慎吾	委 員	松井 優介
	委 員	伴 卓		
	委 員	伊藤 謙一		
視察先	1 静岡市役所（静岡市葵区） 2 坂口谷川水門（牧之原市） 3 金谷御前崎連絡道路（島田市～菊川市） 4 どうする家康浜松大河ドラマ館（浜松市中区） 5 浜松市役所（浜松市中区） 6 Glamping&Port 結（島田市） 7 KADODE OOIGAWA（島田市）			

## 視察の概要

7月26日（水）

### ■ 静岡市役所

<概要>

法人事業税の超過課税を活用した事業として、県と静岡市が連携して高規格幹線道路等の交通基盤の整備を促進するため県が市に交付している「地震・津波対策促進費交付金」を活用した道路整備等の実施状況について説明を受けた。事業の内訳は橋梁の地震対策、緊急輸送路の整備、災害に強い高規格幹線道路、政令市管理漁港の津波対策である。



<主な質疑応答>

Q 国道150号（久能拡幅）の完成予定はいつか。

A 現在用地取得が88%まで済んだ。令和12年完成を目指している。

### ■ 坂口谷川水門

<概要>

法人事業税の超過課税の充当対象事業である「地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づき、坂口谷川の河口付近では、想定される津波から人命や財産を守るため、新たに水門の



整備を行っている。この水門は、震度5弱程度以上を検知した場合にゲートが緊急自動降下する機能を持ち、津波警報などが発令された場合は、島田土木事務所からの遠隔操作により降下させることができる。

<主な質疑応答>

Q 工事を実施するための準備工事として行った矢板の規模は。

A 河川をせき止めて行う工事であり、地中に埋められている矢板の長さは地上に露出している長さの3～4倍である。

## ■ 金谷御前崎連絡道路

<概要>

高規格幹線道路として、金谷御前崎連絡道路は、富士山静岡空港、国道1号、東名高速道路、新東名高速道路、さらには重要港湾御前崎港に至る約30kmの地域高規格道路として位置づけられており、法人事業税の超過課税の充当代象事業である。

「陸」「海」「空」の拠点がつながることによる利便性の向上はもちろんのこと、災害に強く、市民生活の安全・安心に資する道路として整備が行われている。



## ■ どうする家康浜松大河ドラマ館

<概要>

令和5年1月に開始した大河ドラマ「どうする家康」の放送にあわせ、主人公徳川家康のゆかりの地である浜松市に開館した施設である。登場人物の紹介や衣装・小道具の展示を通じて家康がいた当時の浜松城の雰囲気再現しているゾーンや大河ドラマの出演者インタビューやメイキング映像を240インチの大スクリーンで楽しめる4Kシアターなど、誰でも楽しく分かりやすく大河ドラマの世界を楽しめる施設になっている。

浜松市では、家康プロジェクト推進事業、浜松城及び大河ドラマ館観光誘客プロモーション業務、大河ドラマ関連まちなか活性化事業などにより、地域経済の活性化を図っている。

<主な質疑応答>

Q ドラマ館前の葵広場の用途は。

A 葵の御紋をかたどっており、浜松城天守閣から眺めることができる。今後マルシェ等に活用する予定である。



7月27日(木)

## ■ 浜松市役所

<概要>

法人事業税の超過課税を活用した事業として、県と浜松市が連携して高規格幹線道路等の交通基盤の整備を促進するため県が市に交付している「地震・津波対策促進費交付金」を活用した道路整備等の実施状況について説明を受けた。事業の内訳は橋梁の地震対策、緊急輸送路の整備、政令市委譲河川の津波対策、災害に強い高規格幹線道路である。



## ■ Glamping&Port 結

### <概要>

令和3年3月に閉校となった小学校跡地にオープンした全21棟の大型テントを配置したグランピング施設であり、校舎をフルリノベーションした施設でのアクティビティやBBQ等が楽しめる。



令和元年8月に策定した「島田市立小中学校再編計画」により、土地及び建物の利活用を通して湯日地区の地域コミュニティの活性化やにぎわいの創出、地域振興につなげることを目的に本事業が始まり、公募型プロポーザルを実施して事業者を決定するなど、官民が連携して事業を行っている。

### <主な質疑応答>

Q 事業者への賃貸借期間は20年と設定されているが、その後の予定は。

A 20年で一旦市に返還されるが未定。

Q 閉校した校舎を活用した事例としての波及効果はあるか。

A 新聞に取り上げられたのは評価された面もあると考えている。令和5年度末に市内の4校が同時閉校する予定であり、その参考事例にもなると考えている。

Q 産直市場等イベント開催時の地域との調整は誰が行っているか。

A 湯日地区の自治会が中心。元が学校なので教育委員会も運営メンバーに入っている。

## ■ KADODE OOIGAWA

### <概要>

令和2年秋にオープンした大井川流域の農作物を集めた県内最大級の体験型フードパークであり、マルシェ、産直レストラン、カフェ、遊び場、お茶の体験コーナーなどが楽しめる空間になっている。新東名島田金谷IC周辺地区が県が立ち上げた「内陸のフロンティア構想（現在の“ふじのくに”のフロンティア構想）」の指定を受けたことを契機に、大井川農業協同組合、大



井川鐵道株式会社、中日本高速道路株式会社、島田市の官民4者が連携し、各事業体の特性や強みを生かし、地域の「にぎわい交流拠点」となることを目指して整備された施設である。新型コロナウイルスの影響を受けながらも、令和5年5月には入館者数200万人を達成した。

<主な質疑応答>

Q 外国人客へのプロモーションはどのように行っているか。

A シンガポール、中国の旅行会社の視察を受け入れており、来年は外国人が見込めそうである。今後は富士山静岡空港の動向について情報提供を受けながら進めていく。

Q KADODE 00IGAWA への市、J A、大井川鐵道の出資比率及び収支の状況は。

A J Aが7割。開設当初3年間は赤字の計画だったが、団体バスの予約が入るようになり、現在は当初見込みの140%~150%の収益である。